

高精細 8Kサイネージなどの最新技術やソリューションを提案
「デジタルサイネージ ジャパン2017」 シャープブースのご紹介

シャープは、6月7日(水)から9日(金)まで、幕張メッセ(千葉市美浜区)で開催される展示会「デジタルサイネージ ジャパン2017」に出展します。「シャープのデジタルサイネージで街を変える・オフィスを変える」をコンセプトに、最新の技術や各種サイネージソリューションを紹介します。

■ 主な出展内容

1. 高精細 8Kサイネージ

- ・狭額縁の70型インフォメーションディスプレイ<PN-V701>を16台(縦4台×横4台)組み合わせ、8K相当の解像度を実現するマルチディスプレイを紹介します。高解像度・大画面を活かした「8Kパブリックビューイング」ディスプレイとして提案します。
- ・8K(スーパーハイビジョン)規格に準拠[※]した、70型8K映像モニター<LV-70002>を出展します。

2. 多彩なサイネージソリューション

- ・店舗や公共スペースなど、設置場所や環境に応じて選べる各種インフォメーションディスプレイを出展。40型タッチディスプレイ“BIG PAD”を、水平上向きに設置したテーブル型サイネージも提案します。
- ・わずか約49cmの投写距離で100型の映像を映し出せる、レーザー光源採用の超短焦点プロジェクター新製品を出展します。

3. コンテンツ編集・配信ソリューション

- ・デジタルサイネージのコンテンツ編集・配信管理ソフト「e-Signage」の最新版を紹介します。

※ 8K(スーパーハイビジョン)規格の映像は、アスペクト比16:9、画素数7,680×4,320、BT.2020色域、量子化ビット数最大12ビットなどの条件が定められており、<LV-70002>はこれらに準拠した表示能力を持ちます。(7,680×4,320画素の液晶パネル、地上・BS・110度CSデジタル放送チューナーを搭載しますが、BS・110度CSによる4K・8K放送を受信する機能は搭載していません。)

■ 出展場所：幕張メッセ 7ホール H21

「デジタルサイネージ ジャパン2017」について : <http://f2ff.jp/dsj/>

■ ブース イメージ図

